

令和7年度 本科第2学期終業式 式辞（令和7年12月24日）

この2学期は、暑さ厳しい9月にスタートし、例年にない暑い夏が長引き、いつになったら秋が来るのだろうと思っていたら、あっという間の4か月が過ぎ去り、気がつけば真冬を迎えています。9月の頃は、まだ「こんにちは」で良かった挨拶も、今は「こんばんは」がびったりはまっている夕闇迫る状況です。日々の変化にはあまり気づかないにしても、3～4か月の変化には驚かされることが多くあります。2学期は、文化祭や3年生の修学旅行と大きな学校行事と3年生の進路決定等々目まぐるしく時が過ぎていきました。皆さんの長商での2学期はどうだったでしょうか。

11月に実施した遠足では今年は学校を飛び出し、ポートアイランドでの昼食散策、そしてスケート挑戦やプラネタリウム鑑賞の各行事を心から楽しむ生徒の皆さんの姿を見るにつけ本当に嬉しく感じました。また、一昨日の文化鑑賞会では素晴らしい音楽を披露してくれるとともに、地域のプロダンサーの方やダンサーを夢見る子供たちの迫力あるダンスを肌で実感し、新しい世界を感じる貴重な経験となりました。授業等でやってみて明らかに上手いかなかった時、皆さんはどうしますか。より素敵なダンスや音楽にしようと、友達と考え友達と相談しながら、練習を重ねたと思います。まさに、その経験が学ぶ力となっています。遠足や文化鑑賞会と同じく2年目となる、9月に実施した「NAGAZON 秋祭り」では阪神淡路大震災から30年ということで防災フェアを実施しながら参加者を増やす工夫も凝らしたかいあって、昨年度よりも来店客数、さらには来店客の方と生徒の皆さんの笑顔も増え盛況のうちに終えることができました。そして、最も嬉しかったのは秋祭りに来られたお客様が生徒の皆さんの活動している様子を見て地域のイベントに参加してほしいという要請があったことです。こんなことは昨年度まではほぼなかったことです。おかげさまで、以降の販売実習は地域のイベントや連携行事にも多数参加協力し、充実したものとなり実りの秋となりました。学校での学びを地域との関わりの中で、自らが教え広めることは更なる学びの探究につながることは言うまでもありません。その実践が実を結び、コミュニケーション力や社会性も身につくことで、3年生では就職や進学面接や自己アピールにも活用できたのではないかと思います。

さて、一昨日の12月22日は冬至でした。一年で昼が最も短く、夜が長くなる日です。ここで問題です。冬至を過ぎた昨日と今日では、どちらが昼間の明るい時間が長かったでしょうか。答えは、冬至を過ぎると前日より次の日の方が日は長くなっています。では、いつまで長くなるのでしょうか。答えは夏至、6月21日です。この冬至を境に昼の時間が一日一日長くなっていきます。冬至は別名を「一陽来復の日」と言って、冬至は太陽の力が一番弱まった日で、この日を境に再び力が蘇るといった前向きな意味を含んだ言葉です。冬至を境に運氣も上昇すると言われています。個人的に年末のこの慌ただしい感じと、新年を迎えるこの時期の未来が明るくなる感じが一番好きなので、それを皆さんに伝えたくて話しています。また、冬至の時期に食べる習慣があるのがかぼちゃです。日本にはいろいろな習慣がありますがそれぞれに意味があります。疑問に感じたら是非調べる習慣をつけてほしいと思います。かぼちゃは免疫力を高めウイルスの侵入を防ぐ働きがあり、温かいゆず湯につかりかぼちゃを食べると風邪をひかないと言われています。今年はインフルエンザの流行の時期、感染拡大とも非常に早かったです。コロナ禍で、手洗いの励行とうがいは感染症対策に大

きな効果があるということを私たちは学んだはずです。

明日から冬休みです。それぞれが充実した期間になることを祈っています。年の瀬から新年にかけて賑やかな時期を迎えます。交友関係も広まり、いろいろな経験も訪れるかもしれませんが、多くの人が集まる場所へ出かける機会も増えます。事件事故に巻き込まれないように、また感染症対策には十分に留意してください。その上で家族や仲間と穏やかな時間を過ごし、令和8年の元日には「あけましておめでとう」と家族や友人に挨拶ができるように心に余裕をもって新年を迎えましょう。

では皆さん、よいお年を迎えてください。1月8日の3学期始業式にはこの顔ぶれ、全員の笑顔が揃うことを祈念して式辞といたします。